
平成29年度第1回 日進市地域公共交通会議 資料

【報告事項】

平成28年度の運行実績について …… P 1

【議題】

(1) 平成28年度歳入歳出決算について …… P 4

(2) 平成29年度歳入歳出予算について …… P 5

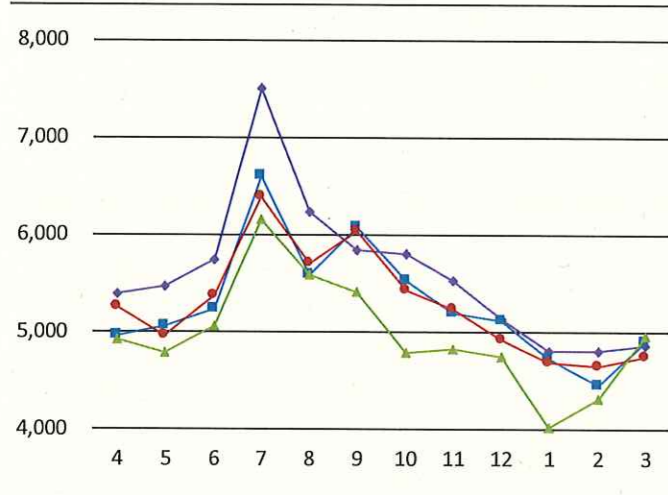
(3) 平成30年度生活交通確保維持改善計画について …… P 6

(4) 平成29年度地域公共交通再編推進事業について …… P 10

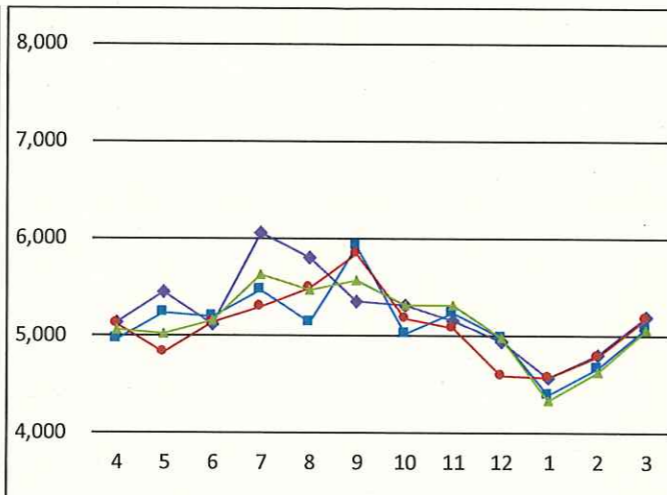
平成29年5月22日

くるりんバス月毎利用者数

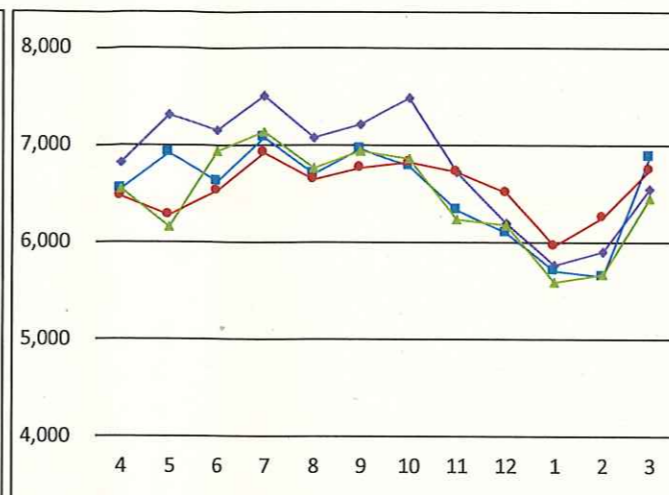
東コース



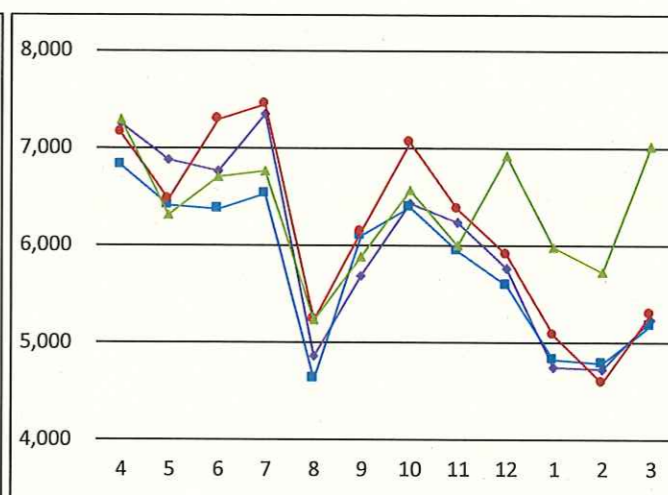
西コース



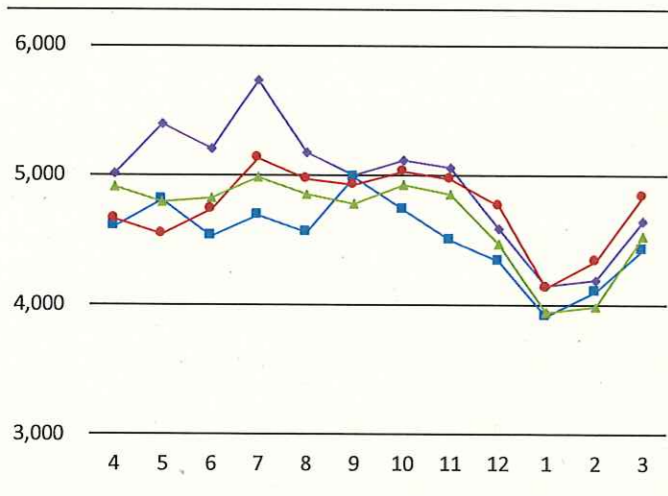
南コース



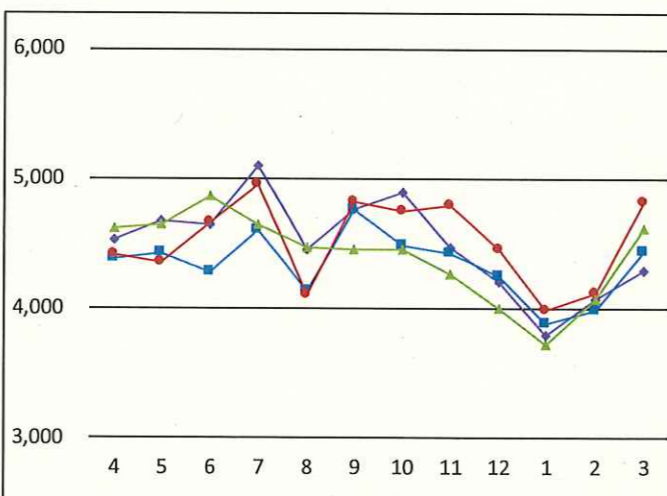
中央線



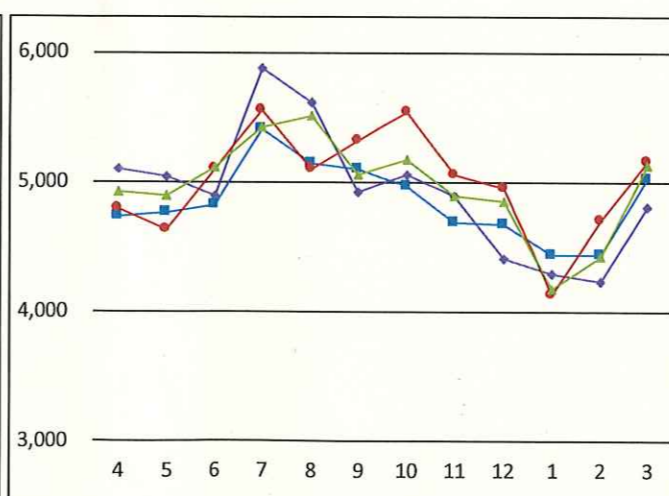
中コース



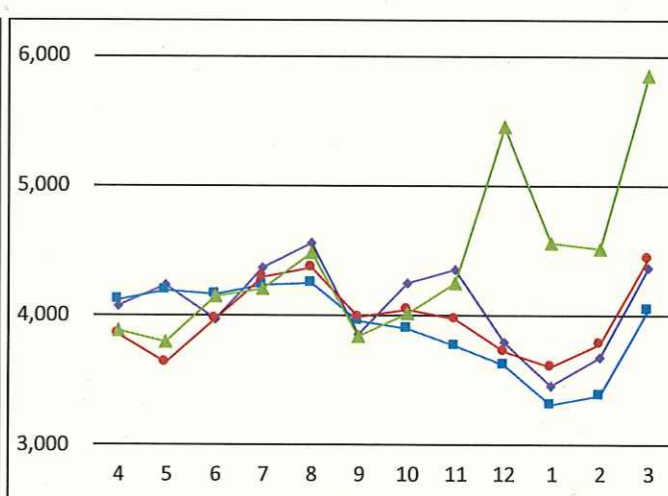
東南コース



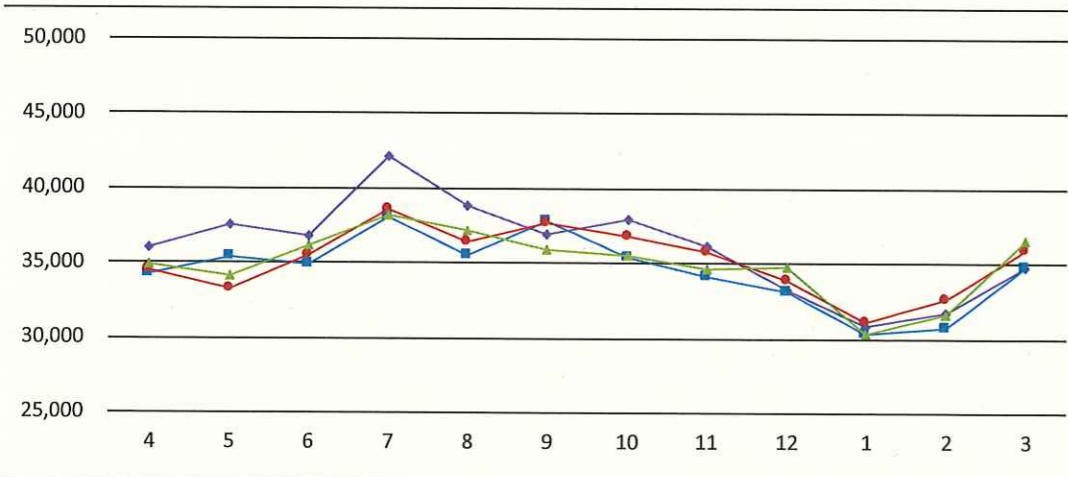
南西コース



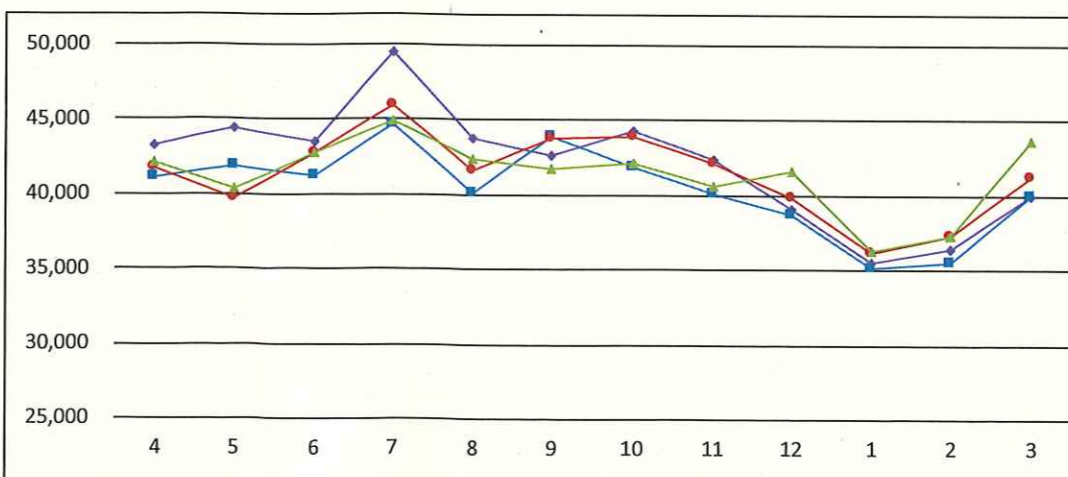
北コース



7コース



8コース

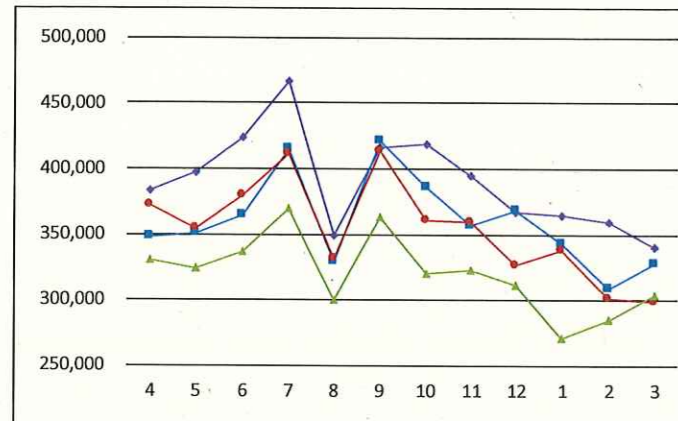


人/月

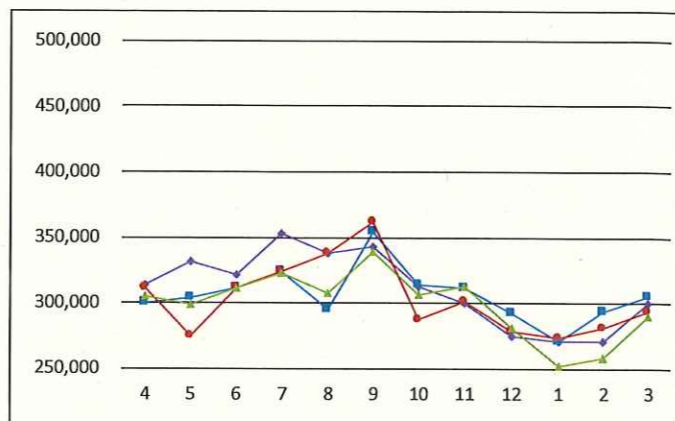
紫	25年度
青	26年度
赤	27年度
緑	28年度

くるりんばす月毎運行収入

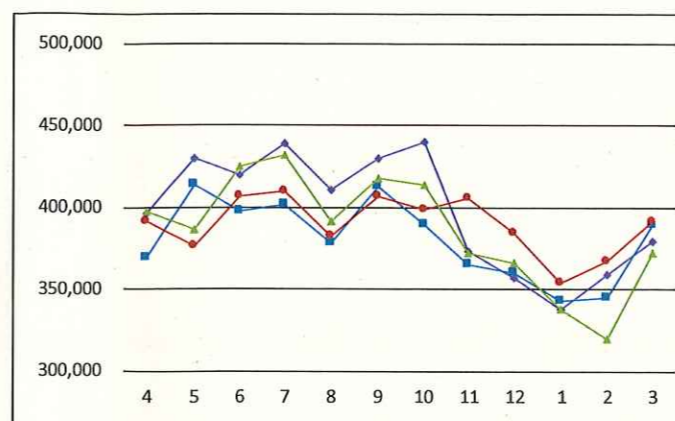
東コース



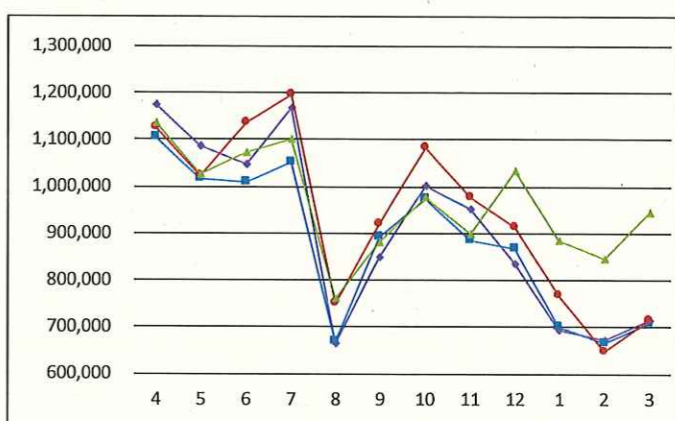
西コース



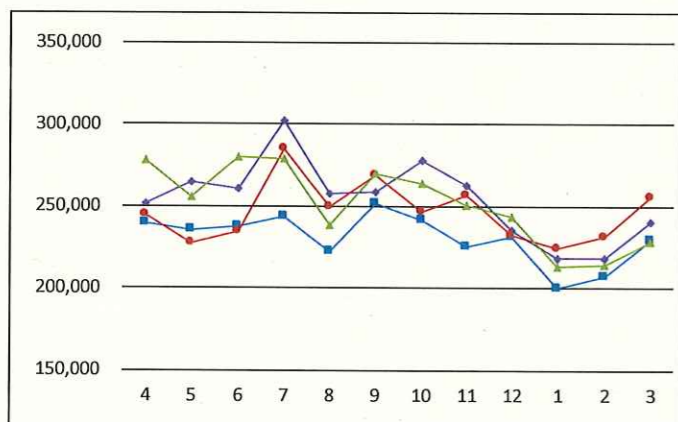
南コース



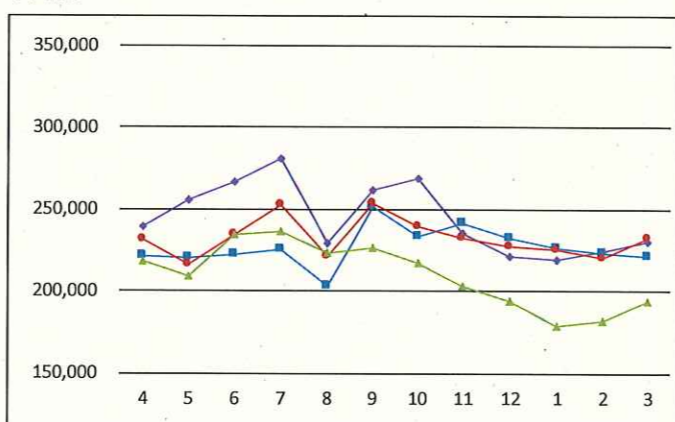
中央線



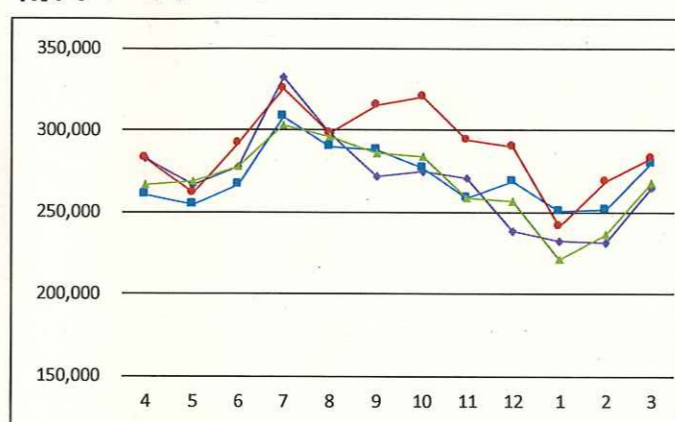
中コース



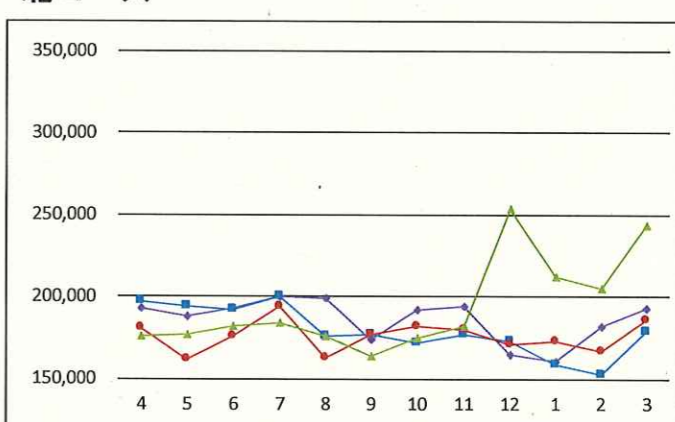
東南コース



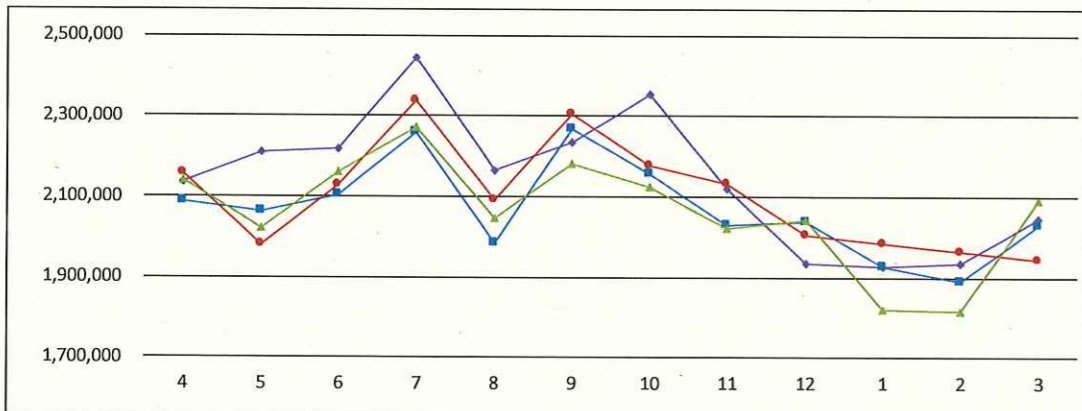
南西コース



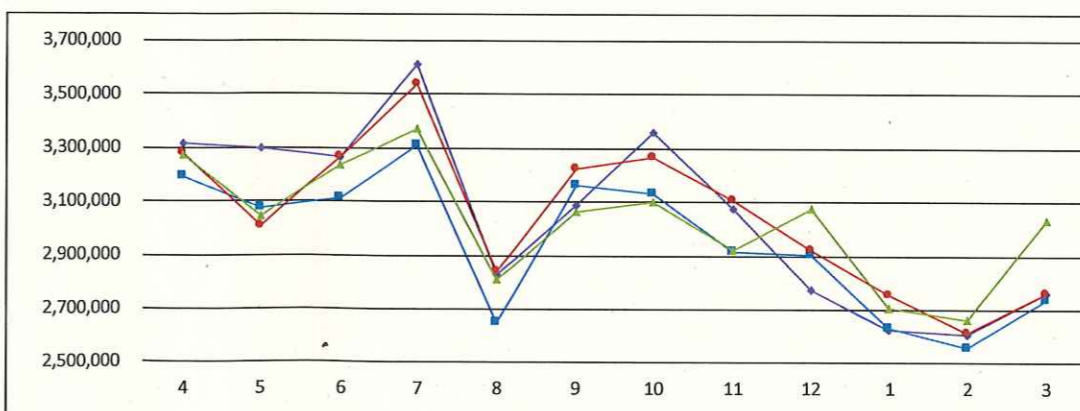
北コース



7コース



8コース



円/月

紫	25年度
青	26年度
赤	27年度
緑	28年度

1 利用者数の推移

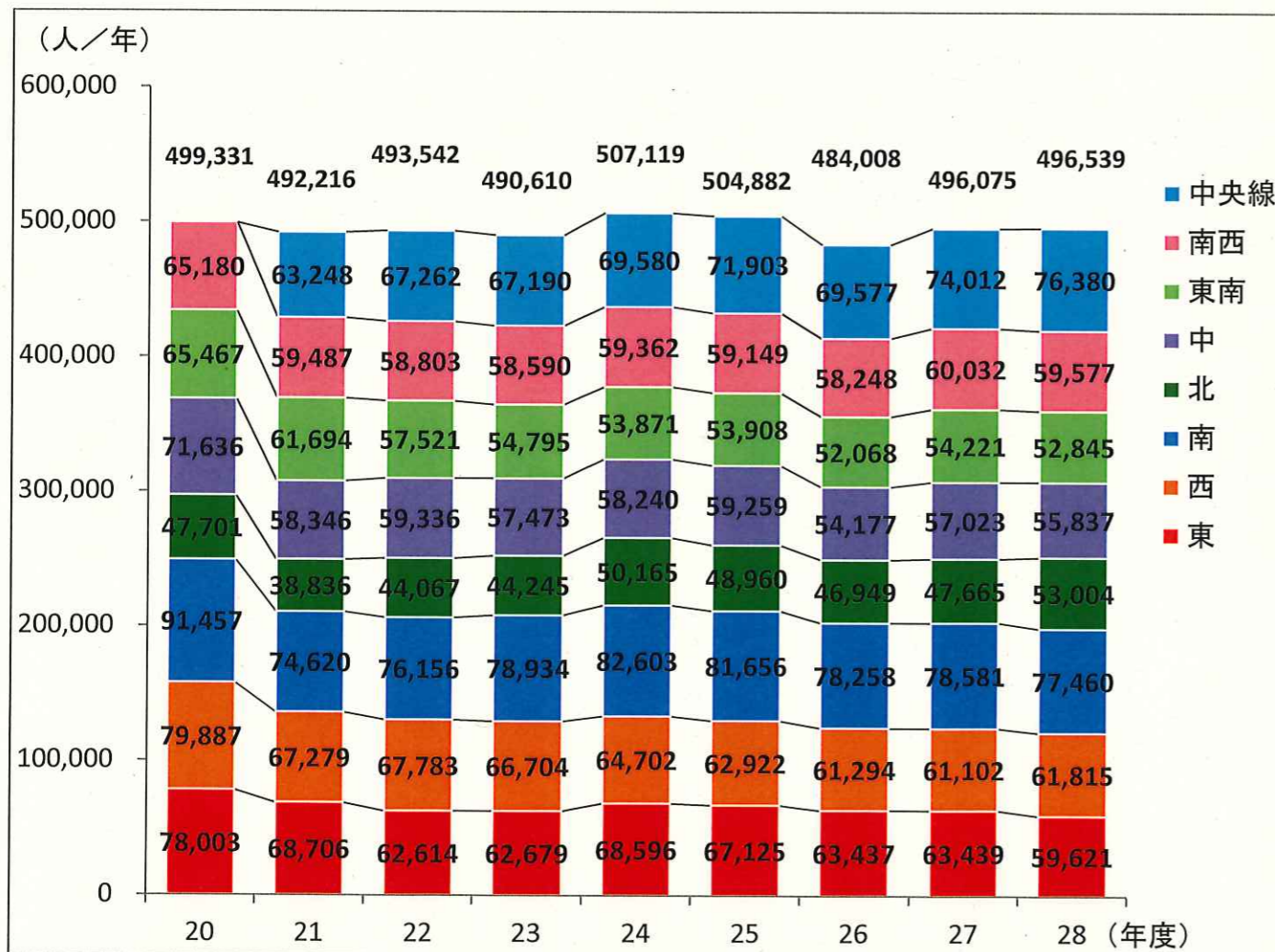
平成20年度から28年度までの利用者数を比較すると、中央線を含めた全体の利用者数は平成26年度が過去最低であったが、27、28年度は回復傾向にあり、過去の平均水準まで増加してきている。28年度の結果をコース別に見ると、北コース、中央線において特に利用者が増加しており、どちらも過去最高の利用者数となっている。この2路線は長久手古戦場駅に乗り入れをしており、イオンモール長久手の開業により乗降客が増加した影響が大きいものと考えられる。一方で東コースの利用者が大幅に落ち込んでいるが、沿線住民の日常生活圏が日進駅等の市南東部から長久手市を含む市北部へ遷移している影響があるものと推測される。

2 車内収入の推移

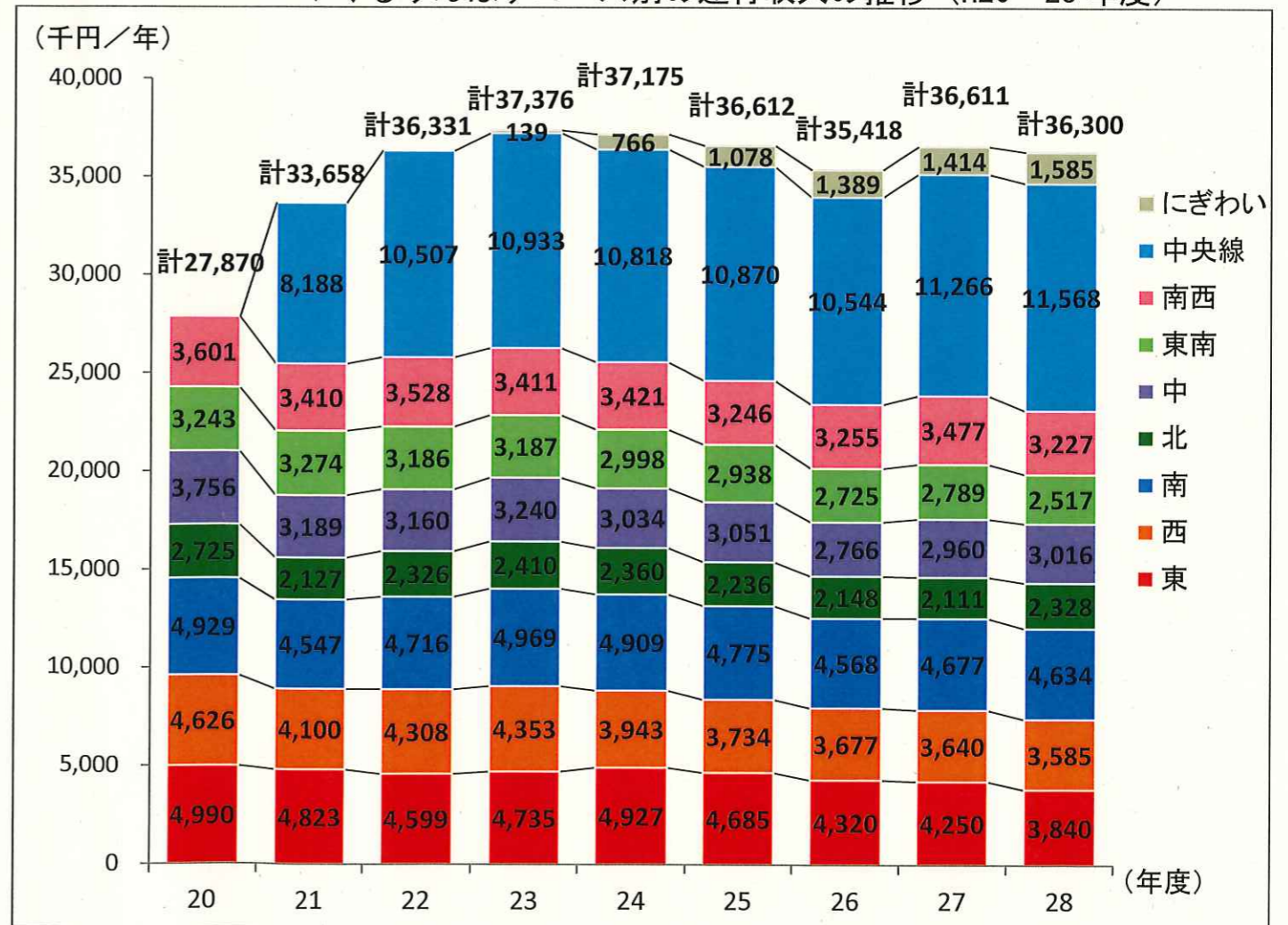
平成28年度の全体の車内収入は27年度と比較すると微減となった。一方で全体の利用者数は微増となっていることから、定期券の利用者が増えたこと及び無料の利用者が増えたことが要因であると推測される。特に定期券の購入額は平成23年の導入後、5年連続で拡大しており、くるりんばすを日常利用する市民が増加しつつあると判断される。

28年度の収入結果をコース別に見ると、北コース、中央線ではいずれも収入は増加しているが、東コースでは収入が大きく減少している。利用者数の増減が収入実績に直結した形となっており、日常生活圏の変遷が利用状況の変化として現れたものと推測される。

▼くるりんばすコース別の利用者数の推移 (H20~28年度)



▼くるりんばすコース別の運行収入の推移 (H20~28年度)



議題(1)平成28年度歳入歳出決算について

平成28年度日進市地域公共交通会議 事業報告

1 日進市公共交通利用促進計画調査事業

日進市地域公共交通再編実施計画に基づく路線再編を踏まえ、利用者目線で分かりやすい総合交通マップの原案を企画・作成しました。

委託業務履行期間：平成28年8月4日から平成28年11月30日まで

契約相手方：株式会社国際開発コンサルタンツ 名古屋支店

契約金額：1,350,000円

2 市内巡回バス路線図・時刻表印刷事業

1で企画・作成した路線図(案)を基に、下記契約相手方が権利を所有する地図図版の上に路線図を重ねて原版を調整。印刷及び折加工をした上で納品いただきました。

委託業務履行期間：平成28年12月20日から平成29年1月27日まで

契約相手方：東洋地図株式会社

契約金額：1,242,000円

3 協議会等の開催

地域公共交通会議 全5回開催(主な議題)

第1回会議 平成28年5月20日

(地域公共交通再編計画推進事業について)

第2回会議 平成28年9月(書面協議)

(くるりんばす料金体系の改正について(修正案))

第3回会議 平成28年10月24日

(年末特別運行について。日進市地域公共交通網形成計画の修正について)

第4回会議 平成29年1月11日

(平成27・28年度地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価について)

第5回会議 平成29年2月24日

(生活交通確保維持改善計画、地域公共交通再編推進事業について)

平成28年度日進市地域公共交通会議 歳入歳出決算

平成29年5月10日 提出

日進市地域公共交通会議 会長 松本 幸正

第1表 歳入歳出決算

歳入 (単位：円)

款	項	予算額	決算額	増減額	説明
1	負担金	3,113,000	3,112,960	△40	日進市負担金
2	補助金	1,000	1,195,000	1,194,000	地域公共交通確保維持改善事業費補助金
3	繰越金	0	0	0	
4	諸収入	1,000	0	△1,000	その他収入無し
合計		3,115,000	4,307,960	1,192,960	

歳出 (単位：円)

款	項	予算額	決算額	増減額	説明
1	事務費	713,000	296,284	△416,716	報償費、食料費、印紙、振込手数料
2	1 事業費	2,400,000	2,593,512	193,512	調査事業委託料、路線図・時刻表印刷代
	2 精算金	1,000	1,418,164	1,417,164	市への精算金
3	予備費	1,000	0	△1,000	その他支出なし
合計		3,115,000	4,307,960	1,747,000	

収入支出に伴う関係書類及び関係帳簿等を審査した結果、いずれも正確かつ適正であることを認めます。

監査委員

大町弘真 (印)

監査委員

幸村朋子 (印)

議題(2) 平成29年度歳入歳出予算について

平成29年度日進市地域公共交通会議 歳入歳出予算書(案)

平成29年度日進市地域公共交通会議の予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算)

- 第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ3,115千円と定める。
- 2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」による。
- 3 歳出予算の各科目の予算額に過不足が生じた場合、相互に流用できるものとする。

平成29年5月22日提出

日進市地域公共交通会議 会長 松本 幸正

第1表 歳入歳出予算

歳入 (単位：千円)

款	項	当初予算額	摘要
1 負担金	1 負担金	3,113	
2 補助金	1 国庫補助金	1	
3 繰越金	1 繰越金	0	
4 諸収入	1 諸収入	1	
合計		3,115	

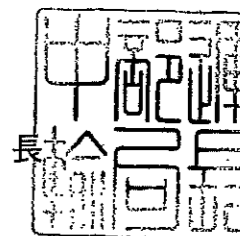
歳出 (単位：千円)

款	項	当初予算額	摘要
1 事務費	1 会議費	713	報償費、食料費 契約印紙代、振込手数料
2 事業費	1 事業費	2,400	計画推進事業、MM事業
	2 精算金	1	精算金
3 予備費	1 予備費	1	
合計		3,115	



中運交企第 6 号
平成29年4月10日

日進市地域公共交通会議
会長 松本 幸正 殿



中部運輸局長

平成28年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金
(地域公共交通調査事業(計画推進事業))の額の確定通知書

平成29年4月3日付けにて実績報告のあった「平成28年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域公共交通調査事業(計画推進事業))」については、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律(昭和30年法律第179号)第15条の規定により、下記のとおり確定したので、通知する。

記

- 1. 確定補助金額 金 1,195,000 円

議題(3) 平成30年度 生活交通確保維持改善計画について

■概要

「地域公共交通確保維持事業」

・日進市地域公共交通再編実施計画を策定したことにより、国土交通省の補助事業である、「地域公共交通確保維持事業」の補助申請が認められました。再編特例により、平成29年度分の補助申請については平成29年3月に申請することが認められましたが、平成30年度の補助申請については通常どおりとなるため、今回の協議会において補助要件である「生活交通確保維持改善計画」を策定し、平成29年6月頃に補助の申請を行います。

なお、「地域公共交通確保維持事業」には、「地域間幹線系統補助」、「地域内フィーダー系統補助」、「車両購入に係る補助」などがありますが、今回活用を予定している補助は、「地域内フィーダー系統補助」と「車両購入に係る補助」となります。

■実施内容

○地域内フィーダー系統補助

補助対象：運行事業者

対象路線：再編後のくるりんばす7路線中、地域間幹線系統に該当する「梅森線」「五色園線」を除いた5路線

補助内容：運行費の補助

○車両購入に係る補助

補助対象：日進市（平成30年度購入車両 1台）

補助内容：購入費の1/2（補助対象経費上限 1,500万円）

(案)

生活交通確保維持改善計画
(地域公共交通確保維持事業のうち地域内フィーダー系統関係)

平成29年 月 日
(名称) 日進市地域公共交通会議
(代表者名) 松本 幸正 印

0. 生活交通確保維持改善計画の名称
日進市地域内フィーダー系統確保維持計画
1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性
省略
2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果
省略
3. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者
地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表1」を添付
①路線図

②予定している運行内容等

路線名	1日運行本数*	始発*	終発*	運行日	使用車両	運行事業者
赤池線	11 (8)	6:40 (8:18)	19:38 (17:05)	毎日 (12/31~ 1/3は運休)	小型バス	名鉄バス
米野木線	11 (8)	6:47 (8:00)	19:25 (16:50)		小型バス	
三本木線	11 (8)	6:50 (8:10)	19:25 (16:50)		小型バス	
梅森線	11 (8)	6:50 (8:10)	19:25 (16:50)		小型バス	
五色園線	11 (8)	6:30 (8:10)	19:25 (16:50)		中型バス	
岩崎線	11 (8)	6:30 (8:10)	19:25 (16:50)		小型バス	
循環線	21 (21)	7:38 (7:38)	20:00 (20:00)		中型バス	

※()内は土休日

③運行事業者の決定経緯

日進市地域公共交通再編実施計画の策定にあたり、新設される地域間幹線路線との連携を図る目的や、過去の実績及び事業実施の可能性(全国共通ICカードの利用、バスロケーションシステムへの対応等)から市が選定

④運行期間

平成29年4月1日~

⑤地域内フィーダー系統の補足資料(既存交通や地域間交通との関係や整合性)

再編にあたっては、幹線系統との役割分担を明確化し、可能な限り幹線路線や既存の民間路線との重複を避けた路線とした。

4. 地域公共交通確保維持改善事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表2」を添付

※なお、運行経費から運行収入及び国庫補助金を差し引いた差額分を市が負担する。

5. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称

名鉄バス株式会社

6. 補助を受けようとする手続きに係る利用状況等の継続的な測定手法

省略

7. 別表1及び別表3の補助事業の基準二に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要

(該当しないため、記載なし)

8. 別表1及び別表3の補助事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧

(該当しないため、記載なし)

9. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要【地域内フィーダー系統のみ】

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表5」を添付

10. 車両の取得に係る目的・必要性

現行のくるりんばすで運用している車両は、平成18年3月~19年5月に購入したもので、累計の走行距離は多いもので70~80万kmとなっており、定期的な点検整備は行っているものの、各部品の経年劣化による故障の頻度が高まっている。

そのため、万が一走行中に故障することがあれば、運行に支障を来すことはもちろん、乗客や周囲の車両への交通安全上の危険が生じることから、順次車両の更新を行う必要がある。

11. 車両の取得に係る定量的な目標・効果

計画的な車両更新により、運行の安全性を確保することとし、もって利用者サービス及び満足度の向上に資するものとする。

コース	車種	自動車登録番号	初度登録年月	累計走行距離(km)	年間走行距離(km)	更新時見込走行距離(km)	更新計画
				H28.7末			
米野木線	小型 (ポンチヨ)	名古屋 200か1661	H18.3	833,603	87,352	918,083	H29
三本木線	小型 (ポンチヨ)	名古屋 200か1660	H18.3	698,618	88,084	764,899	H29
五色園線	中型 (レインボー)	名古屋 200か1961	H19.5	719,552	92,256	904,065	H30以降 順次更新 (概ね1台 ずつ)
岩崎線	小型 (ポンチヨ)	名古屋 200か1963	H19.5	711,135	77,885	944,789	
梅森線	小型 (ポンチヨ)	名古屋 200か1707	H18.7	661,132	74,176	957,836	
赤池線	小型 (ポンチヨ)	名古屋 200か1708	H18.7	637,482	76,470	1,019,830	
循環線	中型 (レインボー)	名古屋 200か1962	H19.5	591,395	54,314	917,281	

※「200か1660」は、年式が最も古く故障の頻度も高いため、更新時見込走行距離は相対的に少ないものの、早期の交替を予定している。

12. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う地方公共団体、要する費用の総額、負担者及びその負担額

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表8及び表9」を添付

13. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持改善事業における収支の改善に係る計画

1. 車両の代替による費用削減等の内容

(1) 公有民営方式によるバス事業者等の負担軽減 (2) 新型車両の導入による費用削減

2. 代替車両を活用した利用促進策

(1) モビリティマネジメントの実施 (2) 「エコモビの日」の実施

14. 協議会の開催状況と主な議論

省略

15. 利用者等の意見の反映状況

公募市民や市内の主要な市民団体を構成員とした地域公共交通会議において協議を行い、運行計画案を作成した。

また、くるりんばすのこれから検討会(住民懇談会)の実施や市のホームページ、広報にて運行計画案に関するパブリックコメントの募集を行い、計画案にそれらの意見を反映した。

16. 協議会メンバーの構成

省略

※地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱に定められた各表については、事務局において内容を調整の上、添付させていただきます。

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

～日進市地域公共交通再編実施計画より～

本市では、鉄道は、名古屋市営地下鉄及び名鉄豊田線及び、市域外北部に東部丘陵線が運行されています。バスは、名古屋市営バスまたは名鉄バスが運行する12系統、市内巡回バス「くるりんばす」が運行しています。このくるりんばすは、年間約50万人の利用がありますが、バス利用不便地区の存在や多様なニーズに対応したサービス内容の改善に関する要望等が出されています。また、大規模商業施設の計画、コミュニティバスの民間路線化の検討、民間バス路線とコミュニティバスの重複解消も図る必要がある状況です。

このような背景の中、本市の将来像を見据え、公共交通が果たすべき役割を整理するとともに、鉄道、路線バス、くるりんばす等、本市に係る全ての公共交通が一体となって機能する公共交通ネットワークの形成を図るため、日進市地域公共交通網形成計画を策定しました。日進市地域公共交通網形成計画においては、民間バス路線とコミュニティバスの路線単位での機能分担、民間バス会社と市との役割分担についても記述しています。

そこで日進市では、広域的な移動も含めた公共交通ネットワークの再構築を進めるための実施計画である日進市地域公共交通再編実施計画を策定します。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

項目		事業の効果
公費負担額		再編前 148,705千円 → 再編後 146,630千円 公費負担額はほぼ横ばいであるが、再編により効率化が図られ、民営化に伴う増便によるサービス水準の向上が図られる。
収支率		再編前 19.9%→再編後 26.2% 民営化及び料金改定の影響により、大幅な改善を見込みます。
路線別の事業効果	路線バスにおける路線の新設 (日進中央線)	現行くるりんばす中央線の民営化に伴う路線の新設により、本計画の目標年次(平成32年度)における年間利用者数は、79千人以上(平成26年度:71千人)への増加を見込みます。
	日進市くるりんばすにおける路線の再編	くるりんばすの路線再編に伴い、本計画の目標年次(平成32年度)における年間利用者数は、570千人(平成26年度:433千人)への増加を見込みます。
	循環線	循環線の新設に伴い、本計画の目標年次(平成32年度)における年間利用者数は、69千人を見込みます。
	赤池線	赤池線の新設に伴い、本計画の目標年次(平成32年度)における年間利用者数は、124千人(平成26年度:118千人)への増加を見込みます。
	米野木線	米野木線の新設に伴い、本計画の目標年次(平成32年度)における年間利用者数は、73千人(平成26年度:62千人)への増加を見込みます。
	三本木線	三本木線の新設に伴い、本計画の目標年次(平成32年度)における年間利用者数は、81千人(平成26年度:65千人)への増加を見込みます。
	梅森線	梅森線の新設に伴い、本計画の目標年次(平成32年度)における年間利用者数は、100千人(平成26年度:51千人)への増加を見込みます。
	五色園線	五色園線の新設に伴い、本計画の目標年次(平成32年度)における年間利用者数は、65千人(平成26年度:53千人)への増加を見込みます。
岩崎線	岩崎線の新設に伴い、本計画の目標年次(平成32年度)における年間利用者数は、58千人(平成26年度:47千人)への増加を見込みます。	
事業全体の効果	日頃バスを利用する人の割合	本計画に基づく事業により、本計画の目標年次(平成32年度)における日頃バスを利用する人(年に数日以上の利用がある人)の割合は、幹線バス39.5%以上(平成26年度:39.0%)、地域交流交通34.0%以上(平成26年度:32.8%)を見込みます。
	公共交通の利用者数	本計画に基づく事業により、本計画の目標年次(平成32年度)における公共交通の利用者数は10,900千人以上(平成25年度:10,079千人)を見込みます。
	公共交通利用の不満割合	本計画に基づく事業により、本計画の目標年次(平成32年度)における公共交通利用の不満割合は、幹線バス35.0%以下(平成26年度:39.1%)、地域交流交通40.0%以下(平成26年度:45.1%)を見込みます。

14. 協議会の開催状況と主な議論

平成26年度

- 第1回地域公共交通会議(平成26年5月21日(水)13:30~15:00)
 - (1)平成26年度歳入歳出予算について
 - (2)地域公共交通調査事業について
- 第2回地域公共交通会議(平成26年8月11日(月)13:30~15:00)
 - (仮称)日進市地域公共交通に関する総合的な計画策定調査事業について
- 第3回地域公共交通会議(平成26年10月22日(水)9:30~11:30)
 - (1)年末試行運行について
 - (2)地域公共交通調査事業について
- 第4回地域公共交通会議(平成26年12月17日(水)13:10~15:30)
 - (1)地域公共交通調査事業の自己評価について
 - (2)日進市地域公共交通網形成計画の骨子案について
- 第5回地域公共交通会議(平成27年1月27日(火)13:10~15:30)
 - 日進市地域公共交通網形成計画(案)について
- 第6回地域公共交通会議(平成26年3月17日(火)13:10~15:30)
 - (1)南西コースの運行路線等の変更について
 - (2)日進市地域公共交通網形成計画パブリックコメント案について

平成27年度

- 第1回地域公共交通会議(平成27年4月24日(水)9:30~11:30)
 - (1)平成27年度歳入歳出予算について
 - (2)地域公共交通網形成計画(案)パブリックコメント結果について
- 第2回地域公共交通会議(平成27年8月10日(月)9:30~11:00)
 - (1)平成26年度歳入歳出決算について
 - (2)地域公共交通再編実施計画の策定に関する基礎調査について
- 第3回地域公共交通会議(平成27年10月28日(月)9:30~11:00)
 - (1)年末特別運行について
 - (2)地域公共交通再編案について
- 第4回地域公共交通会議(平成28年1月8日(金)9:30~11:30)
 - (1)地域公共交通再編案の修正について
 - (2)中部運輸局における平成26・27年度地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価について
- 第5回地域公共交通会議(平成28年2月19日(金)9:30~11:00)
 - 地域公共交通再編実施計画の策定に関する基礎調査について
- 第6回地域公共交通会議(平成28年3月31日(木)9:30~11:30)
 - (1)くるりんばすの料金体系の改定について
 - (2)平成28年度歳入歳出予算について

平成28年度

- 第1回地域公共交通会議(平成28年5月20日(金)9:30~11:10)
 - (1)平成27年度歳入歳出決算について
 - (2)地域公共交通調査事業(計画推進事業)について
 - (3)地域公共交通に関する意見
- 第2回地域公共交通会議(平成28年9月 文書会議)
 - くるりんばすの料金体系の改定について

第3回地域公共交通会議（平成28年10月24日（月）9:30～11:10）

- （1）年末特別運行について
- （2）日進市地域公共交通網形成計画の修正について
- （3）くるりんばす再編に伴う道路運送法上の協議について

第4回地域公共交通会議（平成28年1月11日（水）9:30～11:00）

中部運輸局における平成27・28年度地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価について

第5回地域公共交通会議（平成29年2月24日（金）14:50～16:30）

- （1）平成29年度生活交通確保維持改善計画について
- （2）平成29年度地域公共交通再編推進事業について

16. 協議会メンバーの構成

省略

議題（４）平成２９年度 地域公共交通再編推進事業について

1 実施目的

日進市地域公共交通網形成計画に基づき、公共交通の利用促進策のひとつであるモビリティマネジメントを実施し、計画目標を達成することを目的とする。なお、実施に要する経費について、国の再編計画推進事業費補助金（1/2 補助）の申請を行います。

2 事業提案

平成２８年度第５回日進市地域公共交通会議での話し合いを踏まえ、下記のとおり実施事業を提案します。なお、予算の制約があるため提案事業の全てを平成２９年度中に実施することは困難であると予想されるため、優先的に実施する事業について決議を行います。

（１）ワークショップの開催

再編後の市内公共交通を利用し、実際に市内の施設等を訪れ、公共交通の利用を体感していただくプログラムを実施する。（買い物ツアー等）

（２）利用動向調査の実施

くるりんばすに乗車している方に車内アンケートを実施。日ごろの利用状況や利用目的、路線改変後の行動変化等について分析し、今後の市民への利用提案へと繋げる。

（３）動機付け資料（個人用最寄りバス停時刻表）の作成

くるりんばすを利用する際に、瞬時に最寄りのバス停の時刻表が分かる掲示物を企画、作成する。

3 契約の方法

契約金額にもよるが、委託契約の公平性を担保するため原則として競争入札を行うこととします。

別添資料1

■くるりんばす利用者数記録表(29年度月別コース別)

	循環／南西	赤池／南	米野木／東南	三本木／東	梅森／西	五色園／北	岩崎／中	計	日進中央線	合計
H29.4	4,472	4,886	2,187	3,077	4,057	5,964	2,880	27,523	8,319	35,842
H28.4	4,917	6,543	4,610	4,919	5,069	3,886	4,915	34,859	7,292	42,151
増減	-445	-1,657	-2,423	-1,842	-1,012	2,078	-2,035	-7,336	1,027	-6,309
対比	90.9%	74.7%	47.4%	62.6%	80.0%	153.5%	58.6%	79.0%	114.1%	85.0%

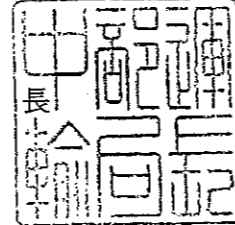
■くるりんばす月別コース別料金収入
(収入)

	循環／南西	赤池／南	米野木／東南	三本木／東	梅森／西	五色園／北	岩崎／中	計	定期・回数券 収入	合計
H29.4	146,000	296,800	91,300	230,100	250,800	318,000	120,100	1,453,100	1,605,400	3,058,500
H28.4	267,300	398,000	218,600	330,200	305,300	175,600	278,300	1,973,300	311,000	2,284,300
増減	-121,300	-101,200	-127,300	-100,100	-54,500	142,400	-158,200	-520,200	1,294,400	774,200
対比	54.6%	74.6%	41.8%	69.7%	82.1%	181.1%	43.2%	73.6%	516.2%	133.9%

中運交企第 13 号
平成29年 5月 8日

日進市地域公共交通会議 会長 殿

中 部 運 輸 局



地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果の通知について

地域公共交通確保維持改善事業実施要領に基づき実施した二次評価等の結果を別添のとおり通知します。なお、評価結果については、各協議会等において積極的に公表されたい。

調査事業(計画推進事業) 事業評価要約版(28年度)

支局	No.	自治体・協議会名	二次評価	※参考付記
		事業概要		第三者評価委員会における 主な委員コメント
		自己評価		
愛知	3	日進市地域公共交通会議	市民参加のワークショップにより多様な意見を反映した総合交通マップの作成を行っていることは評価します。 今後は、この総合交通マップを活用して地域住民と協働した利用促進策を期待します。	<ul style="list-style-type: none"> 再編実施計画推進事業として何をしていくかが重要であり、マップ作成だけでは不十分である。取り組みメニューはいろいろあるので、地域公共交通会議できちんと議論して取り組んでほしい。 →「公有民営方式による車両更新を順次実施していく。MMや市民サポーター制度を実施していく予定。」 市HPの情報では、くるりんばすから名鉄バスに変更される。中央線の取り扱いがわかりづらい。また、名鉄バスに変更した関係で利用者ODなどの情報が把握できなくなっている。評価に関する事項をきちんと整理し、記載してほしい。
		<ul style="list-style-type: none"> 市内公共交通総合マップの作成 <p>再編後の市内公共交通総合マップの作成にあたり、市民参加によるワークショップを開催し、利用者等の意見を徴収、これを基に図案を作成した。作成した図案は、各交通事業者に内容を確認の上、印刷し、全戸配布を実施。</p>		

2017年5月1日

地域公共交通会議
委員長 松本 幸正 様

日進市議会議員 山根 みちよ
ごとう みき

「くるりんばす」の充実をもとめる要望

「くるりんばす」再編から1ヶ月がたちました。市民、利用者の声をもとに、以下要望します。

① 乗車料金、定期券などについて

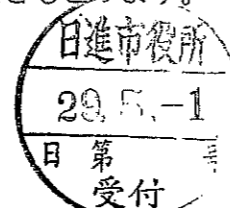
1. 日進駅でも「乗継券」を発行してください。
2. 今まで通り、定期券をバス内でも販売して下さい。
3. 名鉄中央線でもくるりんばす定期を使えるようにしてください。
4. 近隣市町同様、1乗車 100円に戻して下さい。

② バスの運行などについて

1. 赤池線、米野木線を「市役所」発着にしてください。
 2. 梅森線を「赤池駅」に乗り入れて下さい。
 3. 岩崎線を「岩崎台・香久山福祉会館」経由にしてください。岩崎台から、福祉会館、香久山小学校へいく路線を復活させてください。
 4. 三本木線「福成」と「東中学校」の間にバス停をつくってください。
 5. 米野木線「日進駅」で停まる場合、次の発車時までバス内での継続乗車を認めて下さい。
 6. 米野木線、平日5便（市役所 12:59着）、8便（市役所 16:34着）を他の便と同様、東山経由日進駅へ引き続きの運行にしてください。
 7. 土休日の便数を増やして下さい。特に、五色園線の最終が「長久手古戦場」発 17:21では早すぎます。再編前と同様に、19時台の運行を確保してください。
- 当面、土日の 16:50 を 17:00 にして図書館の閉館時間に合わせ乗り遅れをなくすようにしてください。

③ 市民にとってよりよいバスの充実のために

1. 利用者、市民のみなさんの声をよくきき、改善、充実に努めてください。
2. 名鉄中央線の距離制運賃での大幅値上げ、くるりんばすの定期券が使えないのは、大きな負担増です。利用者の負担軽減を図ってください。
3. 市民会館へは、循環線のみ乗り入れとなりました。「市民会館へ行かなくなった」「行けなくなった」と、利用を控える人が出ています。改善を求めます。
4. それぞれの生活圏を大切にされた路線編成を求めます。
5. 高齢者の方をふくめ、市民の移動手段を守る為ならぬ充実をもとめます。



以上